

豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉 1-1-18 いづみ荘 103

新日本婦人の会狛江支部 気付

連絡先 : 080-5084-1821 (前土肥)

郵便振替口座番号 00140-3-727253



第 305 号 (2025 年 12 月号) / 2025 年 12 月 1 日発行

市議会を傍聴しましよう

狛江市議会第 4 回定例会

11 月 26 日(水)から 12 月 22 日(月)まで

物価高騰に悩まされ、教育や福祉の充実を求める市民に、市・市長がどんな施策を講じるのか、みんなの傍聴を呼びかけます。

豊かな会が推薦する日本共産党の4議員は一般質問で、宮坂良子議員が国保税値上げ、狛江団地建替え問題、視覚障がい者の安心・安全、西村あつ子議員が駐輪場増設、市民生活支援、特別支援教育、荒木てつ議員が生物多様性、市民の参加と協働条例、いじ

め問題、岡村しん議員が義務教育無償化、上下水道、PFAS、バス路線などを質します。

本会議・一般質問はインターネットでライブ中継されますので、自宅からの傍聴も可能です。

2回目の請願・陳情の締め切りは 12 月 15 日(月)午後5時です(1回目は 11 月 17 日)。

問い合わせは議会事務局 03-3430-1128まで

日時	開会	開催場所	内容
11 月 26 日(水)	午前 9 時	議場	本会議(初日)
12 月 3 日(水)			一般質問
12 月 4 日(木)			一般質問 2番目から宮坂、西村、荒木、岡村各議員
12 月 5 日(金)			一般質問
12 月 8 日(月)			一般質問
12 月 10 日(水)		第二委員会室	総務文教常任委員会
12 月 11 日(木)			社会常任委員会
12 月 12 日(金)			建設環境常任委員会
12 月 22 日(月)		議場	本会議(最終日)

「市政を考える会」第 1 回連絡会開催(11/17)

市政に市民が主体的にかかわる機会を提供するための学習や意見交換を行う会とします。実態を学び話せる場になるよう、市内で活動している市民・団体を話題提供者とし、意見交換を行う。また市政のあり方そのものを考える機会として、他地域のすぐれた経験を学ぶ場にもしたい。勉強会は昼間と夜または休日の 2 部構成とするなど話し合いました。

市民参加と市民協働条例に関して西東京市訪問

11月18日、中村西東京市議の紹介で、荒木てつ議員、鈴木悦夫元市議、重国さん、周東の4人で西東京市役所を訪問、同市企画政策課長から、市民参加条例の運用状況について伺いました。

同市の市民参加条例は、当時の先進的な条例を参考に2002年(H14)年10月1日に施行されました。狛江市(2003年4月施行、当時検討中)はじめ大阪府箕面市(1997年4月施行)、北海道のニセコ町(2001年4月施行、まちづくり基本条例)、東京都日野市(1994年3月施行、市民参加の推進に関する要綱)等を参考にされたそうです。

西東京市の市民参加条例の逐条解説では、市民参加の対象に「大規模公共施設(新築)の建設に当つての基本構想、基本計画等が該当する」としています。一方、「既存の施設の増改築、利用目的の変更等については対象外とする」とされていますが、大規模な公共施設の移転において、移転先の施設が新築の場合は市民参加の対象となるとのことでした。なお学校の統廃合については、住民協議会を設置するなど、より丁寧な市民参加のとりくみを行なっているそうです。

市民参加と議会の権限との関係では、逐条解説で「市民参加手続きを認定するのは…政策立案、決定、実行及び見直しの4段階のうち、政策立案及び見直し段階における市民参加である」として、決定は議会の権限、実行は市長の権限と整理しています。

いろいろお聞きして、改めて狛江市の市民参加条例の運用状況と逐条解釈の変更は、この条例の根幹に関わる大きな問題だと感じました。狛江市の状況をお伝えしているうちに、まるで愚痴を聞いてもらいたいに来たような気分になりました。

西東京市は2001年1月、保谷市と田無市が合併してできた市です。保谷市は1977年から1993年まで都丸革新市政でした。西東京市で市民参加が進んでいると感じられたのも、そんな歴史があるからでしょうか。それにつけても矢野市政で市民参加と市民協働の条例策定に関わった松原氏の豹変ぶりはなぜなのでしょうか。

約束の時間より早めに着いたので、市庁舎の隣の中央図書館を覗いてきました。今時の図書館のようではないけれど、蔵書数23万冊超や「非核・平和」や「縁(ゆかり)」など数々のお勧めコーナー、子

どもの本棚の真ん中には丸いテーブルに可愛い椅子など閲覧場所の工夫など、天井は高いし、明るいし。。。まあ狛江では無理だろうな。

もらった図書館だよりは、「くらしのなかに図書館を一中央図書館50周年特集号」でした。中央図書館の設計者、園田匠氏の言葉“すべての市民が、お年寄りも乳幼児も体の不自由な人たちも寝たきりの老人も含めて誰にでも自由に気軽に使える図書館、これが田無の図書館を設計する最大のポイントであった。(中略)とにかく田無の図書館の1階には間仕切りは一切設けていない。全部がつながった一つの空間である。”
(周東三和子)



こまえ社保協が 第13回総会



11月8日(土)午後、第13回こまえ社保協(社会保障推進協議会)が東京土建狛江支部会館で開かれ、15人が参加しました。

医療・介護は給付減と負担増

記念講演は「医療・介護制度の改悪と改善運動」と題して、東京社保協事務局次長を務める大嶋祐介さんがマイナ保険証の現状、医療機関の危機、政府が狙うOTC類似薬の保険はずし、「全世代型社会保障」と称して世代間対立をあおっていること、介護保険の利用者負担増と介護の再家族化・市場化、さらにマイナン

バーを「活用」しての資産狙いまで大きな流れを約1時間学びました。

所得が増えている？

政府は「後期高齢者の所得額が増えている」と後期高齢者の窓口負担増額を増やそうとしています。政府統計で所得を増やしているのは「利子・配当所得」と「給与所得」の層なので、前者はここ数年続いている高株価・高配当の恩恵を受けている人たち、後者は年金だけでは生活が苦しいのでやむなく就業している人たちではないでしょうか。働くを得なくして医療費負担を増やすことになっているのではと思いました。

参加団体が活動報告と決意表明

岡村誠会長の挨拶、宮坂良子共産党市議団長の来賓挨拶に続き、牧岡義隆事務局長が憲法を守る運動、対市要求など経過報告しました。

活動方針、会計決算・予算が承認されたのち、参加団体(調布狛江府中民主商工会、新日本婦人の会狛江支部、豊かな狛江をつくる市民の会、狛江生活と健康を守る会、北多摩中央医療生協狛江班、東京土建狛江支部)が活動報告と決意表明をしました。役員はすべて再任されました。

(東野川・前土肥保)

狛江市PTA連合会が市に要望書

狛江市のPTA連合会から市に対して要望書が出されています。緑野小PTAのサイトに全文が載っています。

共通の要求事項として

1 待機児童の解消

放課後クラブを必要な家庭が利用できるよう
に、入所・退所基準の見直し。

2 不審者対策の強化

各教室に内線を設け、職員室と連絡できる手段
が必要。

校門の自動施錠システム導入など、不審者が物

理的に学校に入れないような対策を講じること。

不審者情報について、学区の垣根を越えた情報
発信ができる仕組みづくり。

3 制服のコストカット

学校指定のものは高額。安価な市販品でも可と
して欲しい。

市内の制服を統一して、リボンやネクタイで差
別化する制服の全体的なコストカットの検討。

またそれぞれの学校から

- ・南部エリアの放課後クラブの円滑かつ早期の民
営化、職員の労働環境にも配慮を。(3小)
- ・6小学区学童待機解消 新たな学童クラブ設置、

- 6 小放課後クラブ・駒井学童の受け入れ枠増。
・特別支援学級人数増加への対応（緑野小）
・外部職員のいる別室教室の継続（5小）
・有償ボランティアの発達サポーターを6小にも配属。
・タブレットや利用している学習アプリの見直し、タブレットを軽量なものに。

・教室内の冷暖房機器の修繕または交換。冷水機やスポットクーラーなど熱中症対策。

などの要求が出されています。

身近に対象の子どもがいないと掴みにくい面がありますが、一緒に運動していくといいですね。

新婦人泊江支部が市議会第4回定例会に陳情書提出

「豊かな泊江」10月号に学校教育課長と懇談した記事を書きましたが、やはり市にきちんと予算をつけてもらわないと、企業からの寄付品がなくなった時点で、常備されなくなってしまいます。

生理用品設置の背景と目的

1. 生理の貧困への対応: 物価高や家庭の経済状況の悪化により、必要な生理用品を購入できない生徒への支援として実施されています。
2. 「言いにくい」という壁の解消: 生理のタブー視が根強く、経済的困窮を人に言いにくい生徒もいるため、トイレに置くことで誰でも利用できる環境が作られています。
3. 学校生活の質の向上: 生理用品がなくて困ることをなくすることで、生徒が心身ともに健康に学校生活を送れる環境整備を目指しています。

設置場所と方法の例

- ・女子トイレの個室: 府中市立第一中学校などでは、女子トイレの個室内に設置され、生徒がいつでも利用できるように配慮されています。泊江も一中を除いてこの方式です。
- ・保健室近辺のトイレ: 小金井市では、保健室の近くの女子トイレにも配置され、利用しやすくなっています。

学校以外の場所での取り組み

- ・公共施設への設置: 泉大津市では、公共施設（市役所庁舎、図書館、公民館など）の女子トイレにも生理用品を無料で提供するサービス「0iTr（オイタル）」を導入しています。調布市も市民プラザあくろす内の3階女子トイレ3カ所と2階女子トイレ3カ所に「0iTr」を設置しています。

生理用品の小中学校女子トイレへの常備を求める陳情書

2021年以降、「トイレットペーパーのように生理用品の常備を」と全国的な運動があり、多くの自治体で学校や公共施設での生理用品の常備が実現されてきました。私たち新日本婦人の会泊江支部もこまえ社会保障推進協議会の一員として、2022年度から予算要望を提出してきました。

泊江市では、2023年6月から、民間企業から寄付された生理用品を試験的に各小中学校の女子トイレに配置されていますが、寄付された用品が無くなったら後の措置は考慮されていません。

生理は個人差が大きく、周期通りに来ないこともあります。トイレ個室内ですぐに手当ができるよう、トイレットペーパーのようにアクセスができる必要があります。今後も女子トイレに生理用品が常備されることを要望します。

以上の趣旨により、以下の陳情を行います。

1. 小中学校の女子トイレに、トイレットペーパー同様、生理用品を常備してください。そのために必要な予算措置を行ってください。

県議の「市役所のトイレに生理用品がなくて困った」というSNS投稿に殺人予告を含めたバッシングがあった三重県でも、1年間の試行ですが11月から県庁の女子トイレに無料配布器が設置されました。

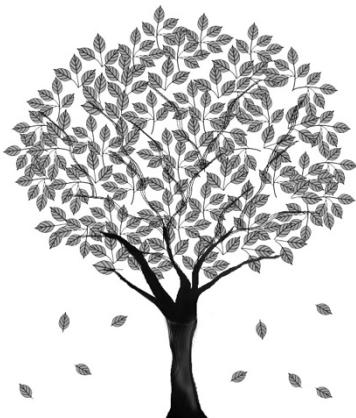
12月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報を寄せください。※本紙に折り込んでほしいビラなどがありましたら、280部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(水) 13時～14時	狛江駅北口	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
9日(火) 15時～16時	狛江駅前	9の日行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
12日(金) 10時～	みんなの広場	「豊かな狛江」1月号 編集会議	
17日(水) 10時～12時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協 まなび講座「介護」	各加盟団体の皆さん、ご出席ください
18日(木) 14時～ 15時30分	中央公民館 多目的室3	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	初めての方も気軽にご参加ください。
22日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
23日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 1月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。
24日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部が中心。第4水曜日。

「豊かな狛江」はホームページでカラーのPDFでご覧になれます。これまでのバックナンバーも掲載中。

<http://yutakanakai.clean.to/index.html>



11・3国会前で憲法アクション 木枯らし一号のなか

前土肥 保

憲法が公布されて79年目を迎えた11月3日(月)、国会正門前で「今こそ平和といのちと人権を! 11・3憲法アクション」が開かれ2,300人が参集、狛江からもノボリを立てて参加しました(写真)。

主催者を代表して染裕之さん(総がかり実行委共同代表)が、高市首相が米トランプ政権に軍事費増額を約束したことに言及し、「歴史の忘却を許さず、平和憲法の理念のもとに世界の恒久平和の実現を」と述べました。

政党から社民党・ラサール石井副党首、日本共産党・田村智子委員長、立憲民主党・阿部知子衆議院議員が挨拶し、沖縄の風・伊波洋一代表がメッセージを寄せました。

狛江市在住の国際ジャーナリストの伊藤千尋さんが「憲法九条を持っているだけでなく、生かそう」と九条の碑が次々と建立され全国で70を超



えていることを紹介しました。

平和を求め軍拡を許さない女たちの会、ピースボート、ジェノサイドに反対する防衛大学校卒業生の会、改憲問題対策法律家6団体連絡会からスピーチ、トークがありました。

この日は「木枯らし一号」が吹き荒れたため、地下鉄駅から国会まで歩道にギンナンがたくさん落ちており、それを避けながら踏みながら向かいました。

同じ時間帯に狛江駅前でもサイレントスタンディングでアピールしました。

市民センター【こまえみらいテラス】リニューアルオープン

11月1日、中央公民館と地域活動支援センターと子ども向け図書コーナーと、性格も運営の仕方も異なる3つの施設が入る複合施設になりました。オープンからもうすぐ1か月。

2階のスタディコーナーは個人利用で読書や学習活動ができるスペースで、1階の受付で座席を指定して使います。地下には、パフォーマンススタジオが2室、サウンドスタジオは狭いけどドラムの演奏などできます。若者向けのティーンズルームなど、2階と地下のフリースペースも含めて若い人たちで賑わっています。

大人の活動の場は大きさ様々な多目的室が5つと講座室に和室、ホール、名前は変わったけれど調理室と工芸室。まだ使い勝手がよくわ

からないせいか、夜の多目的室は案外空いていて、寂しい感じがします。

すでに使い勝手の悪いところは、いろいろ聞いています。とにかくびっくりしたのは調理室。真ん中は普通のテーブル4台に丸椅子6脚ずつ。部屋の片側は収納棚、反対側に左から流しが連結で4台、真ん中が長い調理台、その右側にガス台がこれまた4台連結。何組もで調理するとなったら大混雑、足元も水で滑って危なそう。教えながらみんなでも難しそう。なんでこんな構造にしたのか、実施設計の段階で誰も何も言わなかったのか、まったく不思議。

利用者懇談会を早く開いてもらって、みんなの声を届けないと。(周東)

善信さんのこと

善信さんと頻繁にお会いするようになったのは、3.11 東日本大震災の後です。原発のことを勉強したいし何かできることをしたいと「柏江の放射能を測る会」を作りました。私だけがズブの素人でした（苦笑）。そこに善信さんも加わってくださり、勉強会、月一回市内の各場所の放射能を測り学校などに持って行くこと、年に一度二泊で福島へ行くことなどを始めました。福島には車で行き、100カ所ほどの定点を測定したり、役所・市民の測定室・復興支援活動をしている市民団体・原発訴訟関係者などを訪問取材して報告書を書きました。善信さんはとても楽しそうに色々なことを話してくださいり、本当に本当に多くのことを教えていただきました。お風呂上がりの一一杯も楽しかった♦



旧小名浜測候所にて 2012年4月2日 福島紀行 見て・聴いて・測って

それから、元同じ劇団で今は映画監督の佐々木さんと増田さんのご自宅に伺い、動画作品を撮りました。3時間以上に及び、途中、奥様が和菓子・洋菓子・日本茶・紅茶・果物・・と次々

二階堂まり

持ってきてくださって私たちは舌鼓を打ちながらのインビュー♦ 善信さんは脇目もふらずにズーーーーっと話し続けてくださいました。それを基に2022年のこまえ平和フェスタでは朗読劇「天気予報が消えた日」を書き上演。終演後には「これで思い残すことはありません」と喜んでくださったことは私の大切な思い出です！

他にも、私の主催している「非戦ユニット・ピーストレイン」（みんなで「いのち」を考える朗読劇ユニット）の公演を観に立川まで来て絶賛してくださいり終演後に会場で



福島原発事故による甲状腺がんのミニ学習会で講演
(柏江 2018年9月25日)

戦争体験を話してくださいったこと、教え子を連れてご自宅に伺い、戦争のこと話を聞いていただいたことなどなど、全部書いたら他の記事は載らなくなります（笑）。ブレない毅然とした内面からは想像できない優しい笑顔と大きな笑い声でたくさんのこと、そして何よりも「生き方」を教えていただきました。

善信さん、まだまだやり残されたことがいっぱいありますよね！私たちは微力ですが無力に非ずと信じてほんの少しずつでもやっていきます！応援しながら観ていてくださいね!!

核兵器禁止条約に署名しないばかりか、非核3原則も破ろうとしている高市総理、軍拡予算は前倒し、日本中にミサイル基地や弾薬庫、国民守るために信じられない。仲良くすべき隣国には喧嘩売るし、重要な働き手である外国籍の人たちを追い出そうとするし。。。維新と組んだ自民党、このまま暴走させるわけにはいきません。市民の連帯と共同を広げ、希望が持てる新しい政治への道を開こう！

M.



消費税をなくす狛江の会

35周年総会

11月28日（金）18～20時

東京土建狛江支部会館

1989年消費税が強行導入され36年が経ち、多くの国民を苦しめ続けています。消費税をなくす狛江の会は1990年に結成され「消費税減税」「インボイス制度廃止」を求めて街頭で訴え、議会に請願を繰り返しています。

#FreePalestine

#FreeGaza

#ただちに停戦を



狛江の自然



野川 金子橋からの夕景（11月4日撮影）

野川から富士山が見えるのは小田急電車車庫屋上「きたみふれあい広場」を除けば、ここからしかない。雲が薄い帯状になった秋の夕景。二つの高層マンションに挟まれ、電線がうるさいが、なぜかほっとする。

（和泉本町 西尾 真人）